テーマ【草花】いのちある園庭に

園庭の工事をきっかけに、今まである草花をどうしていくか、という悩みがテーマを決めたきっかけにもなりました。
この期間の環境。子ども達と一緒に作っていきたい思いもありました。











７月園庭の西側の一部が工事の区域になり、工事が始まりました。今までそこにあった草花を工事がない園庭へ移植する事にしました。大人がシャベルや道具を使い土を運んでいると、見様見真似でお手伝いしてくれるこども達です。トロッコで土を移動してくれました。
何もない園庭にはならないように、透明ケースや植木鉢、プランターにも土を入れ、お花も植えてみました。
最初は大人がきっかけでしたが、“ 子どもたちの興味があることは何だろう？ ”“ 植物はどんなものがいい？ ” など職員で考えました。移植して数日…。「いのちある園庭に！」の第一歩。
緑ある園庭にという願いが叶い大きくなる植物に手を伸ばし、不思議そうにふれてみたり、お花を見ては、じょうろやカップにお水を汲み、お花にお水をあげている姿も出てきました。
園庭の端っこにあった草花が園庭の真ん中に来たことで子ども達の目に留まりやすく、より身近になったように思いました。そして遊びが広がっていく様子がわかりました。













園庭の観察をするのに、記録を細目に取ることや視覚から見てわかりやすく工夫をすることで職員同士の共有をしました。草花が生き続けるには・・・と考えました。

園庭が変化する様子を保護者にも共有しました。子どもたちの実際の声や姿を職員が書き込み、お知らせをました。





時期が来ると草は枯れましたがプランターにお花を植え続けました。
枯草や木の葉を使い「バイオネスト」も作りました。大人の姿をみて興味をもつ子は一緒に参加しました。
草花が出てくると虫がいるかもしれない。来年への取り組みをも兼ねバグホテル（虫のお家）も作り始めました。
１月には保護者参加のワークショップを実施。子ども達が取り組んでいることを実体験することで、園の取り組みを知って貰えるきっかけとなりました。
工事がきっかけで始めた草花の移植やこれからの園庭をどうしていくか、悩んだ年になりました。大人がしている作業をこども達が遊びにかえてくれたり、作った物が壊れたり、植えた花が全て摘まれたり、職員同士で考えることはたくさんありました。けれど、目の前のこども達の興味や関心を示す姿に、これからの命ある園庭をどうしていくかの方向性がみえてきました。
また、同時にこども達や保護者と一緒に園庭を作っていくことの期待が膨らみました。









テーマ【音】



日頃から、いろいろな音に興味があった５歳児クラスが保育の中でも打楽器を使うこともありました。
ある日、隣のクラスから聞こえる和太鼓や笛の音に更に興味を持ち、自分たちもバケツ太鼓や和太鼓、バチをもちはじめました。

エンターティナーのいくちゃんが来園。
バイオリンやギターを使いみんなのリクエスト
を聞きながら、手作り楽器とコラボする曲決めました。
そこからイメージした音を出すために、３つの楽器を提案し、
自分がやってみたい楽器を作成してみました。







手づくり楽器は身近にある廃材を使用しました。
空き箱やペットボトル・ストロー・折り紙・画用紙・デコパーツ・カプセルトイなど、
保護者の方にも協力して集めました。
以前から廃材で物を作る事が好きな子どもたちだったので楽器作りも
集中して作業に取り組んでいました。

複数の小グループに分かれ大人も一緒に作りました。
上手くいかず楽器の音が出ないこともあり、大人に
手伝ってもらったり、子ども同士で教え合う姿もありました。出来上がると、「みて！」「出来たよ、よく聞いて」と音を出し楽しんでいました。









表現の自由を感じてほしい！

以前から交流のあった「エンターティナーいくちゃんの力を借りよう！」
コラボする事で生音と手作り楽器が重なる音の心地よさと楽しみを体験してもらおう！
身近な物を使い、子どもたちの思い思いの音を他者に聞いてもらう体験をしてもらおう！

５歳児が以前から使用していた廃材を使い音が出る楽器を作ったら面白そう。
大人の思いもありましたが、それ以上に子ども達は関心を持ってくれました。

手作りで楽器を作ることでの試行錯誤の経験もしました。
「なんで音が出ないのかな」作り直したり、友達と同じものを作りたいけれど上手くいかない…。
思っていた音がでなくて投げだしたい気持ちもありました。
大人たちは、それをじっくり待ちました。
改めて、大人の余分な声かけを控える大切さも振り返ることもできました。

演奏を通して、自分たちが作った楽器を他クラスの前で発表する喜び、恥ずかしさの中にも
見てもらえる喜ぶ姿も見られました。

年中のクラスも子どもたちからは、同じ楽器が欲しい、僕たちもやりたい！と
憧れを持たれたことで自信に繋がることも感じました。

乳児クラスからのリクエストを聞いて、園のテラスではバイオリンで演奏してくれるいくちゃんの横で、自分で作った楽器を使いお披露目！自由に音を表現している姿が…。
全職員がみんなで見守る景色に変わりました。

子どもと大人が本気で音を楽しむ瞬間が生まれました。